

会議録

会議の名称	令和6年度第2回加東市障害者支援地域協議会
開催日時	令和6年12月3日(火) 13時30分から15時20分まで
開催場所	加東市社公民館 2階 研修室
議長の氏名 (中島 武史) 【出席及び欠席委員の氏名】 〈出席委員〉10人 中島 武史、森下 智行、土肥 博、石原 敬三、上月 秀信、大西 ひとみ、黒崎 彰啓、福島 奨平、丸山 正人、植竹 幸子 〈欠席委員〉2人 渡邊 尚樹、梶本 俊也	
説明のため出席した者の職氏名 ※※※	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・健康福祉部 部長 近澤 孝則 ・健康福祉部社会福祉課 課長 岸本 英典 ・健康福祉部社会福祉課 副課長 篠田 玲子 ・健康福祉部社会福祉課 主査 野津 智哉	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 1 議題 (1) 加東市障害者支援地域協議会の構成について 2 会議結果 (1) 加東市障害者支援地域協議会の構成について審議しました。 3 会議の経過 別紙「令和6年度 加東市障害者地域協議会(第2回)会議経過」のとおり 4 会議資料名 加東市障害者(児)自立支援地域協議会 構成図について	

別紙「令和6年度 加東市障害者支援地域協議会（第2回）会議経過」

発言者	会議の経過/発言内容
	1 開会 2 講話 3 議事
委員長	本日の出席委員数は10名です。加東市障害者支援地域協議会設置要綱第6条第3項において、出席委員数は過半数に達していますので、会議は成立しています。 それでは、議題（1）加東市障害者支援地域協議会の構成案について事務局より説明をお願いします。
事務局	（事務局より加東市障害者支援地域協議会の構成案について説明）
委員長	何か質問や意見はありますか。
委員	現行案に比べて、再編案の方は間に運営会議が入り、さらに専門部会が5分野に分かれて、非常にニーズに合っていて良いと思う。運営会議のメンバーはどのような構成になるのか。
委員長	事務局をお願いします。
事務局	部会長という形で、それぞれの構成員から選出し、部会長と全体会の委員長で一旦協議する形が出来たら良いのではと思っている。
委員	イメージとほぼ合致している。部会長5人と委員長の6人になるが、市当局の部署から運営会議への参加はあるのか。
事務局	事務局として行政は関わろうと思う。その中で、意見を聞いたり集約する事が出来る。
委員	事務局が入らないと、行政のつながりが果たせないと思うので良いと思う。全体の構図としては良しとして、講話の中の資料にあった協議会の6つの機能を、この構成図に落とし込めるとより分かりやすいと思った。実際に機能するのは、専門部会なので、人任せにならず、形骸化しないために、どのような機能を果たすのかを落とし込めると、この表がもっと活性化されると思う。
事務局	協議会の6つの機能は、全体会だけでなく、構成図全体に持たせるという考え方で良いのではないかと考える。
委員	私もそう理解しているが、6つの機能を全部あの部署がやればよいという形になると、形骸化が懸念される。だから、重点機能的なものをそれぞれのところで担うという形が示せたら良いのではという事です。
事務局	分かりました。検討します。

委員長	ありがとうございます。他、意見はありませんか。
委員	専門部会が5つあるが、それぞれどのくらいの事業所が参加する見込みになるのかという事と、「発達支援」と「こども」の部会と重なるのでは？両方に入る事業所とかがあるのかと思ひまして。
委員長	事務局お願いします。
事務局	加東市内の事業所で該当する事業所数は、「相談支援」部会は3事業所、「こども」部会は5事業所、「しごと」部会は10事業所、「せいかつ」部会は13事業所となる。「発達支援」部会がどこまで入れるのかは今からだが、学校との連携などを考えていくのに1つ置いておいた方が良く考えている。今の発達支援連絡会の参集機関の事もあるので、事務局と考えていく必要はある。「こども」部会では、事業所の問題課題を考える所で、「発達支援」部会では、何らかの支援の必要な人に対しての地域課題や、学校等での問題課題を話し合う所と考えている。
委員	今ので分かりました。
委員長	少なくともここで合意を得られているのは、陳情型ではなく主体的になることが必要である事。これは皆さんが合意されていると思う。「発達支援」の位置づけをどうするかですが、「こども」と「発達支援」を分けるのか、一緒にするのか、そのあたりについて事務局はどう考えているか。
事務局	こどもの事業所の問題は、事業間で話し合う場が必要だと思う。途切れない支援を考える場として「発達支援」部会があった方がいいと思う。なので、「こども」部会と「発達支援」部会は別で良いと思う。「発達支援」部会を部会としておくのか、別出しにするのかという点については、別出しにした場合、そこで出た意見をどうやって上げていくのかという事を考えた際、部会として位置付ける方がスムーズなのではないかと思うので、今の形の方が良いと思う。
委員長	ありがとうございます。改めて5つの構成の方が、加東市の実情を考えても良いと。
委員	加東市の場合は、発達支援連絡会というのは当初からあったという事で良かったですね。10年の積み重ねは大きいと思うし、これをなくすのはおかしい。継続性、課題意識を繋げるという意味でも必要だと思う。「こども」部会と「発達支援」部会で参集する事業所が重なっても良いのではないかと思います。
委員長	議論を重ねてきたが、構成としては原案の形が良いという事で。他意見はどうでしょうか。
委員	概ねの流れは大体理解できた。例えば、各部長が全体会に参加するという道もあけておいてもいいのかと思う。そうすることで、全体会の肌感覚が分かると思うし、全体会での助言、提言を下におろしていくという循環型にした方がさらに効果があると思う。必要に応じてという事です。

事務局	全体会のメンバーについては、今後検討し、次の会議で何らかの形で提案したい。
委員長	他ご意見どうでしょうか。では、構成案としては原案通りとしたいと思う。また、部会が増えることにより、意味のない部会をつくらないように、形骸化しないように、陳情するだけでなく、具体的に関われることを基本として行くという事を確認しておきたい。全体を通して何か意見質問等ありますか。
委員	事務局への要望ですが、強制ではなく、希望ですが、協力していただける事業所があれば、見学に行きたい。相互作用が働いて良いと思うので検討していただきたい。
事務局	事業所にも伝え、協力していただける事業所があれば、機会を設けるよう検討する。
委員長	ありがとうございます。他よろしいでしょうか。では、議事は終了しましたので事務局に返します。 4 その他 5 閉会

2024 年 12 月 20 日

議 長 中野武史